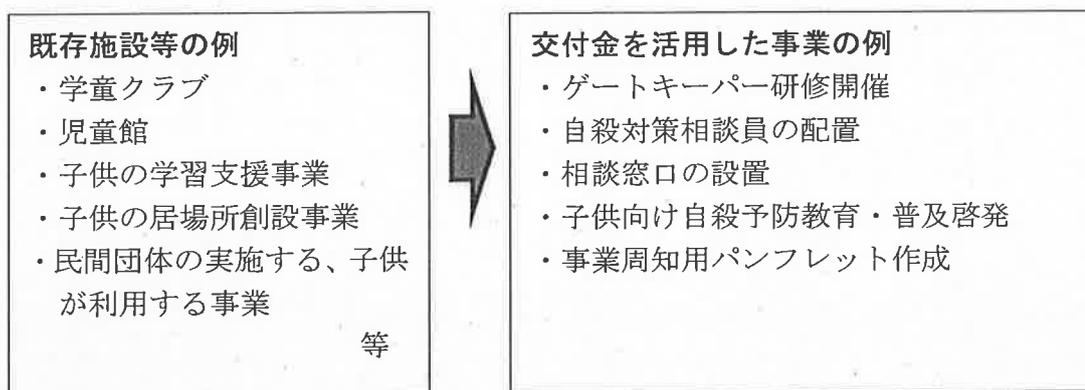


児童・生徒の場の在り方について

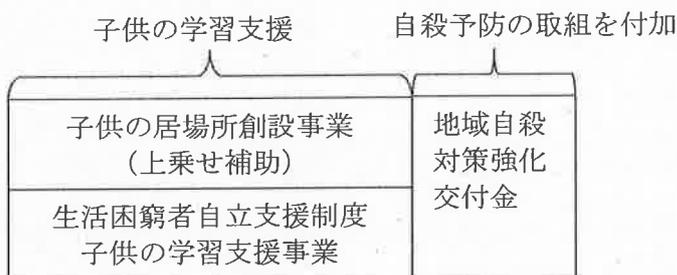
親にも学校にも悩みを気軽に相談できず、自分の居場所が見いだせず、最悪の場合、自殺という最悪の結果に至る可能性がある小・中学生が、放課後や休日等に気楽に立ち寄り、特に何かをしなくても良い、自分が存在していても良いと思える場の在り方について、下記のとおり取組を進める。(PT開催 9/21、12/21)

記

1 既存施設(事業)を活用した事業



※ 生活困窮者自立支援制度、子供の居場所創設事業を活用した子供の居場所に、東京都地域自殺対策強化交付金を活用した場合のイメージ図



2 新たな居場所を設置する事業

